

給食だより

平成27年10月

さいたま市立宮原中学校



気持ちの良い秋空が広がる季節になりました。秋は、芸術の秋・スポーツの秋・読書の秋といわれるように、いろいろなことにじっくり取り組むことができる時期でもあります。そして、味覚の秋といわれるように、さつまいも・くり・きのこ類など今が旬の食べ物がたくさんあります。実りの秋に感謝して、おいしい秋の味覚を楽しみましょう。



みんなで食べる幸せを

世界食糧デーとは？

国連が制定した世界の食料問題を考える日です。

世界の人々が協力し合い、「すべての人に食料を」を現実のものにし、世界の一人一人が協力し合い、世界に広がる栄養不良、飢餓、極度の貧困を解決していくことを目的としています。

この日をきっかけにして自分自身の生活を見直して、世界の人々とともに生きることを実践する人が増えていくことが世界食糧デーの願いです。

世界と日本では何が起きている？

世界では、全ての人間が生きるために必要な食事を十分賄う食料が生産されていますが、これらの多くは経済的に豊かな先進国の人々が優先して買い上げて食べているそうです。日本は食料自給率40%で、輸入に頼る食生活です。

しかし、生産される食料の3分の1が食べる前に捨てられています。一方で、世界では9人に1人が飢えに苦しんでいます。異常気象や戦争などが原因で、生産する環境が失われてしまった地域では、作りたくても作れず、獲れず、食べられない人がいるのです。また、食べ物を手に入れられず、栄養が足りずに病気にかかる人も多くいます。

日本では、1年間に消費される食料8400万トンのうち、1700万トンが捨てられています。その中には、まだ食べられるはずの食べ物が500~800万トンも含まれています。これは日本の米の年間収穫量約850万トンに近く、1人当たり毎日おにぎりを1~2個捨てているのと同じくらいになるそうです。

私たちに何ができる？

世界食糧デーをきっかけに世界にも目を向け、食事をとれない人のことを考えてみましょう。そして、自分の生活に目を向けて、残さず食べるようにしたり、自分が使う量だけ買い、捨てないようにしましょう。さらに、私たちが食べているものはどこから来ているか考え、作ってくれた人に感謝し、世界中の人みんなが食べられるようにするために、自分に何ができるか考えてみましょう。



ツール・ド・フランス給食を行います！



今年も**10月24日(土)**に**さいたま新都心周辺**を会場に「**ツール・ド・フランスさいたまクリテリウム**」という**国際自転車競技大会**が開催されます。イベントの開催を記念して、宮原中では**20日(火)**の給食を**フランス料理**の献立にしました。フランス料理を食べて、皆さんもツールドフランスを応援しましょう！

～献立紹介～

- ***主食** : **クロワッサン**・・・フランス発祥のパンで「三日月」という意味。バターを使っている場合はひし形、マーガリンを使用している場合は三日月形をしています。
- ***主菜** : **オムレツ**・・・フランス発祥の料理とされています。
- ***副菜** : **ポトフ**・・・ポトフはフランスの家庭料理。具たくさんのスープをじっくり煮込みます。
- ***デザート** : **フランマンジェ**・・・「フラン=白い、マンジェ=食べ物」という意味。イチゴソースをかけていただきます。



お知らせ : 今月の給食費等の引き落とし日は**10月13日(火)**です。

さいたま市キャラクター
つなが竜 ヌウ